

6. 人口減少社会を踏まえた女性の活躍促進について

(1) 女性にとって高知県は働きやすいかについて

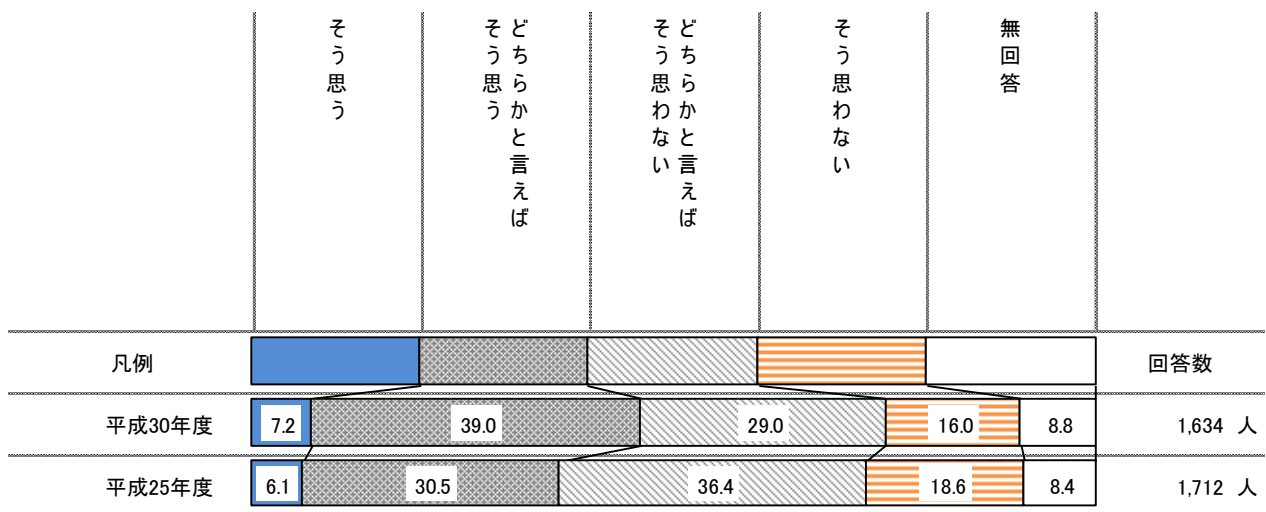
問 32 女性にとって、高知県は、働きやすい県だと思いますか。（1つだけ○印）

【総合】 「どちらかと言えばそう思う」が39.0%と1位になっている。

次いで「どちらかと言えばそう思わない」が29.0%、「そう思わない」が16.0%と続いている。

【過去の調査との比較】

「どちらかと言えばそう思う」が今年度では25年度に比べ8.5ポイント増加している。



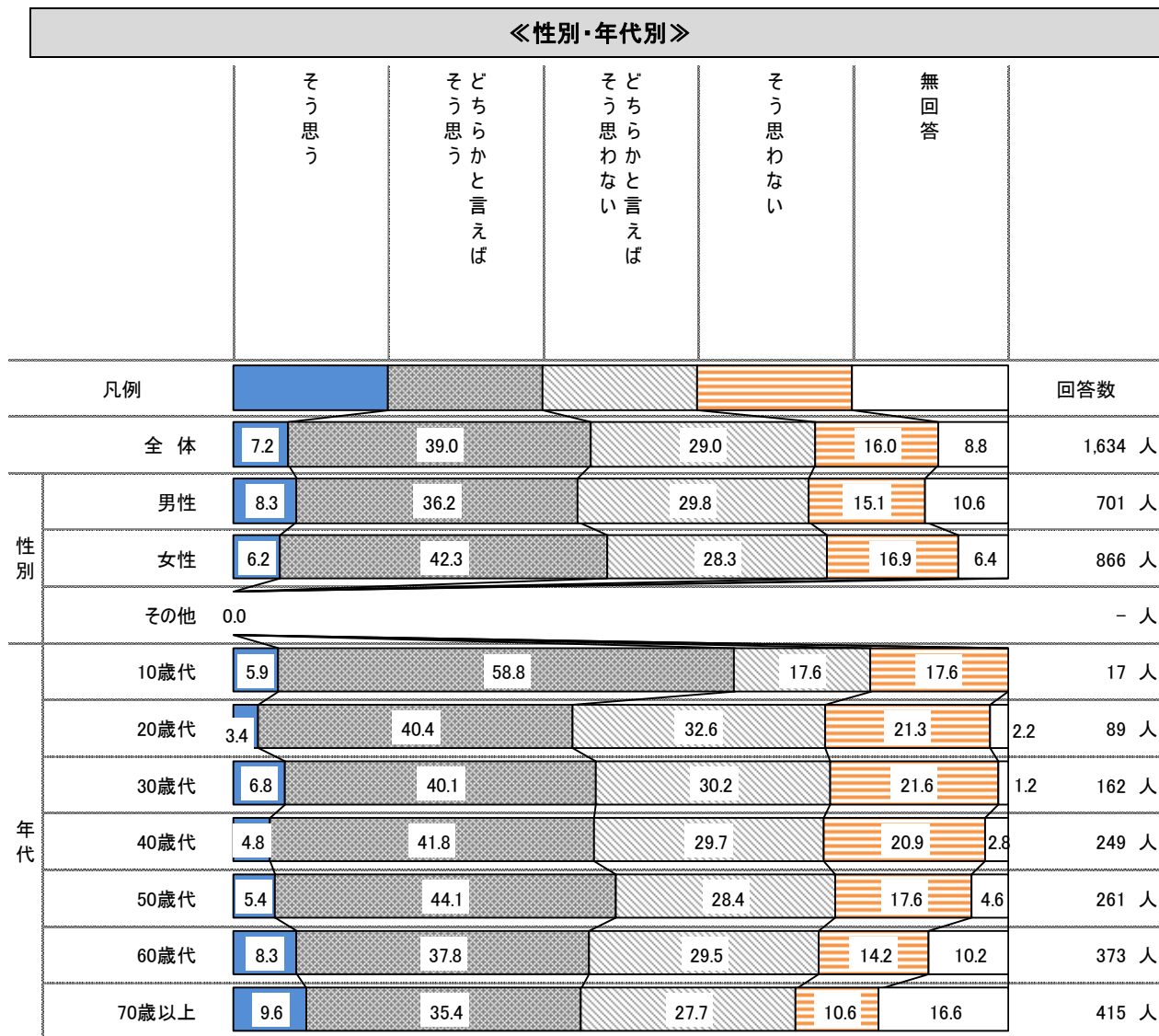
グラフ単位：(%)

【性別】

男女とも「総合」と同じ結果となっている。

【年代別】

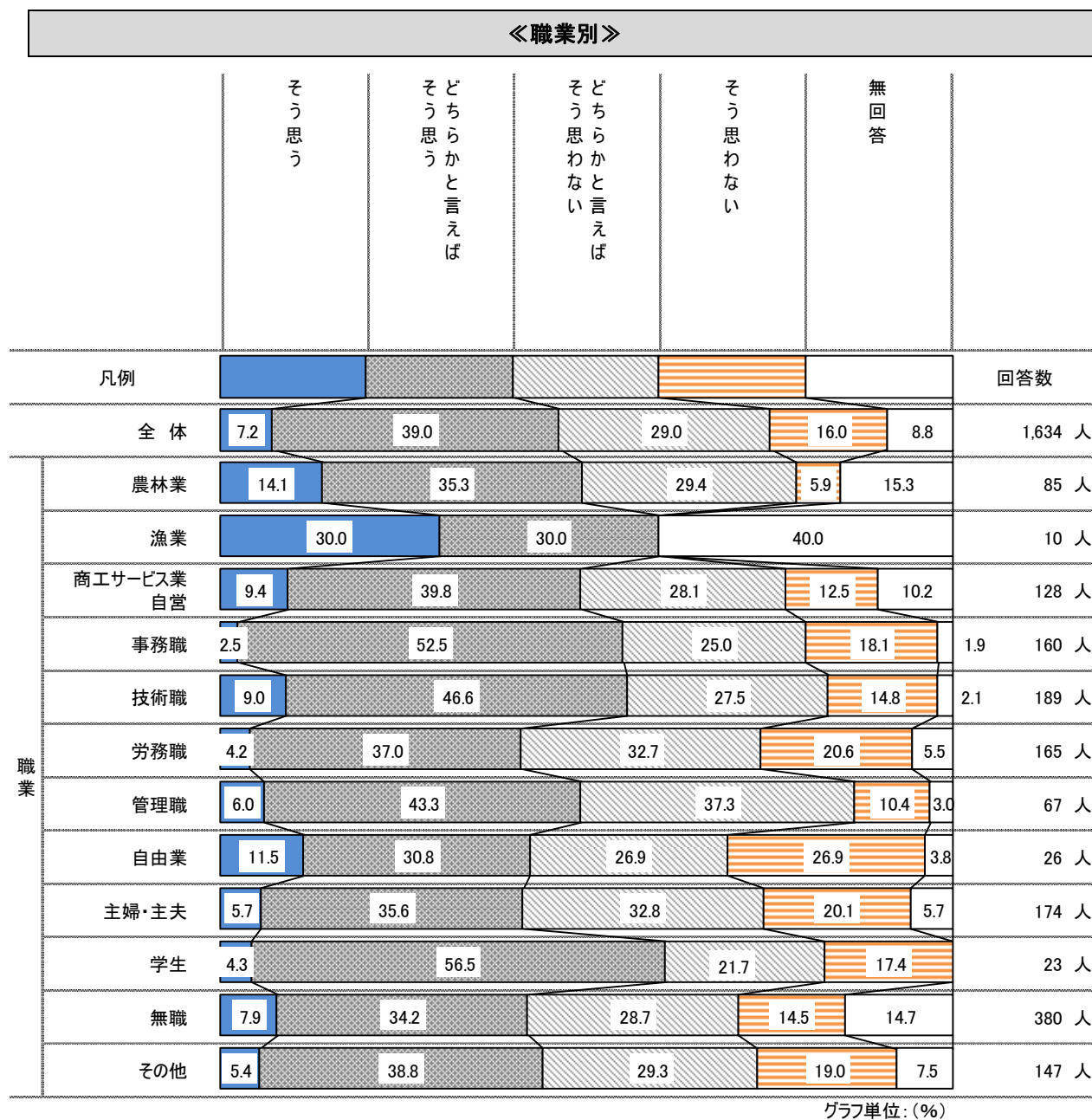
「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」を合わせた【そう思う】は、10歳代が最も多く、20歳代が最も低くなっている。「どちらかと言えばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた【そう思わない】は、20歳代が最も多く、10歳代が最も低くなっている。



グラフ単位：(%)

【職業別】

「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」を合わせた【そう思う】は、学生が最も多く、労務職が最も低くなっている。「どちらかと言えばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた【そう思わない】は、自由業が最も多く、農林業が最も低くなっている。



(2) そう思った理由について

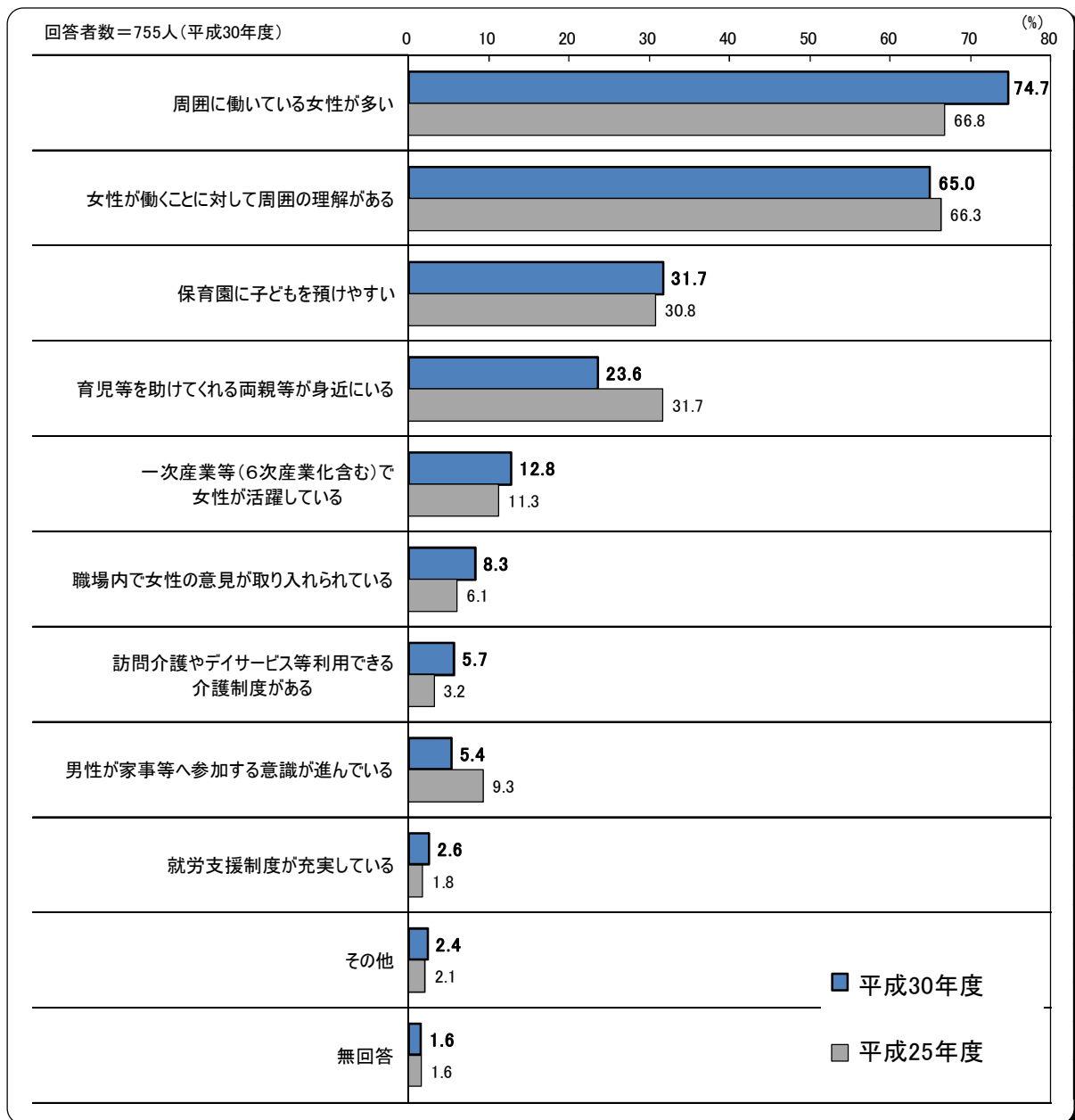
副問1 (問32「女性にとって、高知県は、働きやすい県だと思いますか。」で「1(そう思う)・2(どちらかといえばそう思う)」を選んだ方のみお答えください。) 選んだ理由は何ですか。(3つまで○印)

【総合】 「周囲に働いている女性が多い」が74.7%と1位になっている。

次いで「女性が働くことに対して周囲の理解がある」が65.0%、「保育園に子どもを預けやすい」が31.7%と続いている。

【過去の調査との比較】

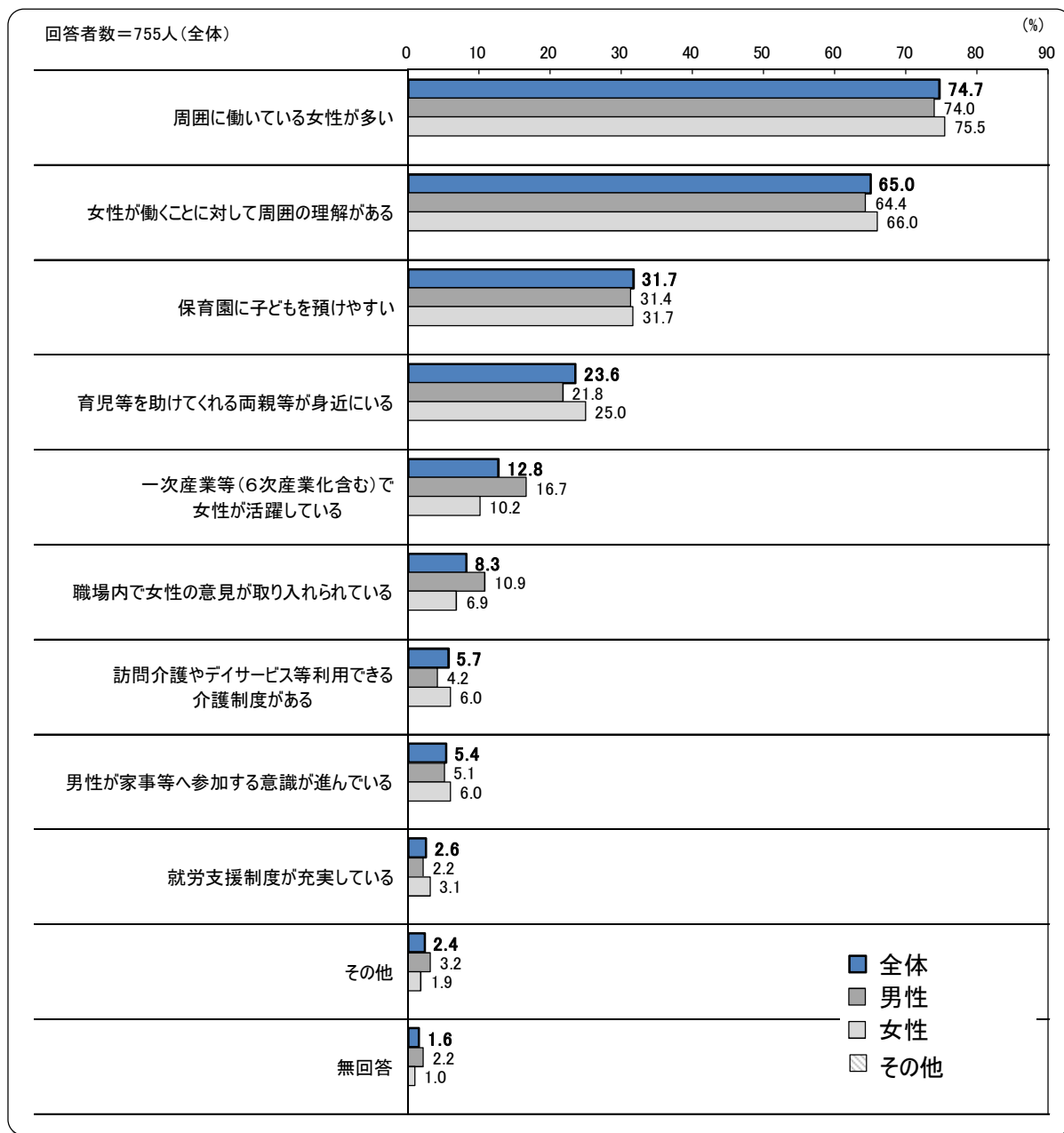
今年度も、25年度と同じく「周囲に働いている女性が多い」が1位になっている。



【性別】

男女とも「総合」と同じ傾向になっている。

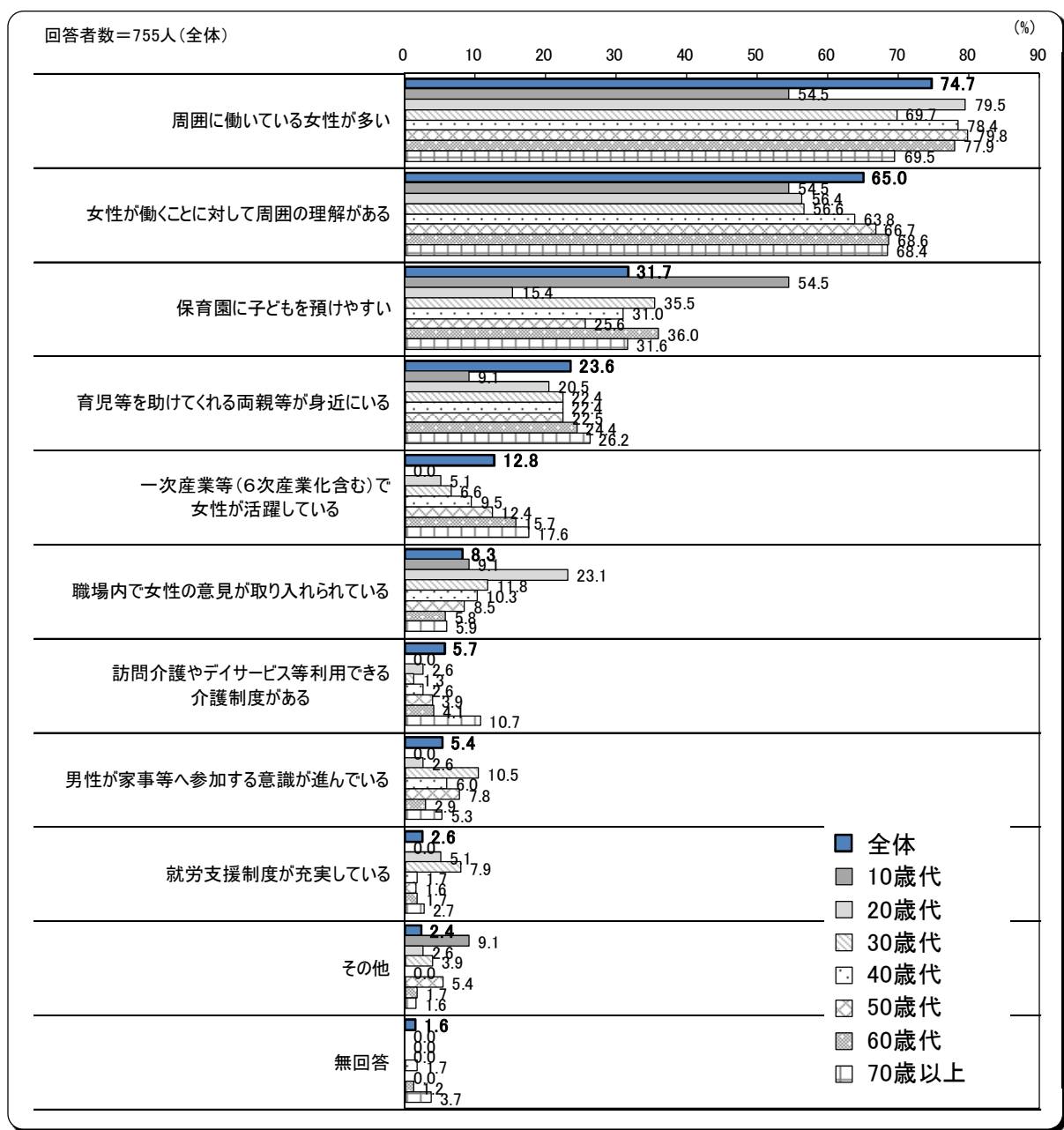
《性別》



【年代別】

いずれも「周囲に働いている女性が多い」の割合が半数を超えて高くなっている。

《年代別》



【職業別】

いずれも「周囲に働いている女性が多い」の割合が高い傾向になっている。

【子どもの状況別】

いずれも「周囲に働いている女性が多い」が1位になっている。

【お住まいの場所別】

嶺北広域圏、高吾北広域圏では「女性が働くことに対して周囲の理解がある」の割合が高い傾向になっている。

《職業別・子どもの状況別・お住まいの場所別》

	全体	ある女性が働くことに対して周囲の理解がある	一次産業等（6次産業化含む）で女性が活躍している	保育園に子どもを預けやすい	就労支援制度が充実している	周囲に働いている女性が多い	職場内で女性の意見が取り入れられている	育児等を助けてくれる両親等が身近に	訪問介護やデイサービス等利用できる	男性が家事等へ参加する意識が進んでいる	その他	無回答	
【表の見方】 上段＝回答数(人) 下段＝比率(%)													
全体	755 100.0	491 65.0	97 12.8	239 31.7	20 2.6	564 74.7	63 8.3	178 23.6	43 5.7	41 5.4	18 2.4	12 1.6	
職業	農林業	42	59.5	38.1	23.8	2.4	64.3	9.5	38.1	9.5	4.8	-	2.4
	漁業	6	33.3	16.7	50.0	-	33.3	-	-	33.3	-	-	16.7
	商工サービス業自営	63	77.8	15.9	33.3	1.6	77.8	7.9	19.0	1.6	7.9	1.6	-
	事務職	88	67.0	6.8	21.6	1.1	78.4	10.2	26.1	5.7	5.7	1.1	-
	技術職	105	60.0	8.6	32.4	1.9	75.2	14.3	19.0	2.9	4.8	2.9	-
	労務職	68	67.6	14.7	26.5	1.5	77.9	7.4	19.1	1.5	5.9	1.5	2.9
	管理職	33	60.6	6.1	33.3	9.1	66.7	18.2	18.2	3.0	6.1	6.1	-
	自由業	11	81.8	9.1	27.3	-	81.8	18.2	18.2	-	-	9.1	-
	主婦・主夫	72	65.3	6.9	40.3	1.4	77.8	-	27.8	6.9	4.2	2.8	1.4
	学生	14	50.0	-	42.9	-	71.4	21.4	14.3	-	-	7.1	-
	無職	160	68.1	16.9	31.9	4.4	73.8	5.0	28.8	8.1	6.3	2.5	3.8
その他	65	60.0	9.2	35.4	4.6	78.5	9.2	18.5	4.6	7.7	3.1	-	
子どもの状況	就学前の子どもがいる	53	58.5	7.5	54.7	3.8	66.0	3.8	34.0	1.9	13.2	3.8	-
	小・中学生の子どもがいる	85	63.5	9.4	43.5	4.7	78.8	11.8	25.9	1.2	7.1	-	1.2
	高校生の子どもがいる	52	57.7	11.5	38.5	7.7	75.0	11.5	25.0	3.8	3.8	-	1.9
	大学生、専門学校生等の子どもがいる	51	66.7	9.8	27.5	5.9	78.4	5.9	21.6	2.0	-	3.9	-
	子どもは成人している又は独立している	391	67.0	15.9	33.2	2.0	72.4	6.9	27.6	6.6	5.4	2.0	1.8
	子どもはいない	181	65.2	10.5	18.8	3.3	79.6	13.3	12.2	5.0	3.9	3.9	1.1
お住まいの場所	高知市	334	67.7	9.6	25.4	3.3	77.5	10.2	22.2	4.2	5.1	2.4	1.5
	安芸広域圏	49	65.3	24.5	30.6	4.1	69.4	4.1	24.5	8.2	2.0	2.0	2.0
	南国・香美広域圏	106	63.2	17.0	24.5	0.9	81.1	7.5	24.5	3.8	7.5	3.8	1.9
	嶺北広域圏	16	87.5	18.8	43.8	6.3	37.5	12.5	25.0	18.8	6.3	-	-
	仁淀川広域圏	61	59.0	9.8	39.3	1.6	77.0	8.2	24.6	3.3	9.8	4.9	-
	高吾北広域圏	28	67.9	7.1	57.1	3.6	67.9	-	35.7	10.7	3.6	3.6	-
	高幡広域圏	54	55.6	18.5	44.4	3.7	68.5	14.8	22.2	5.6	1.9	-	3.7
	幡多広域圏	79	63.3	13.9	40.5	1.3	73.4	3.8	24.1	5.1	7.6	1.3	1.3

(3) 女性が働くにあたっての課題について

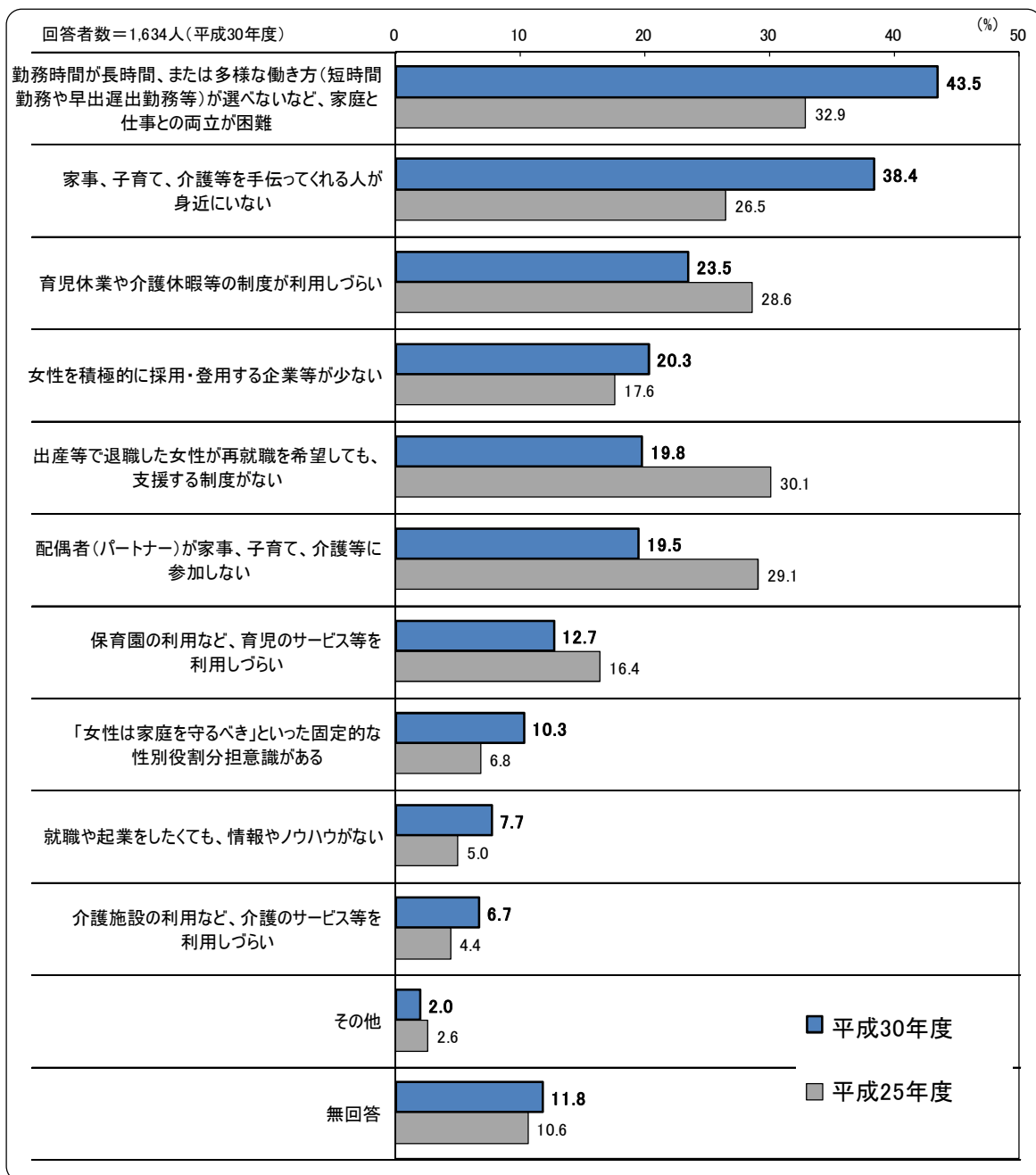
問 33 女性が働くにあたって、どのような課題があると思いますか。(3つまで○印)

【総合】 「勤務時間が長時間、または多様な働き方(短時間勤務や早出遅出勤務等)が選べないなど、家庭と仕事との両立が困難」が43.5%と1位になっている。

次いで「家事、子育て、介護等を手伝ってくれる人が身近にいない」が38.4%、「育児休業や介護休暇等の制度が利用しづらい」が23.5%と続いている。

【過去の調査との比較】

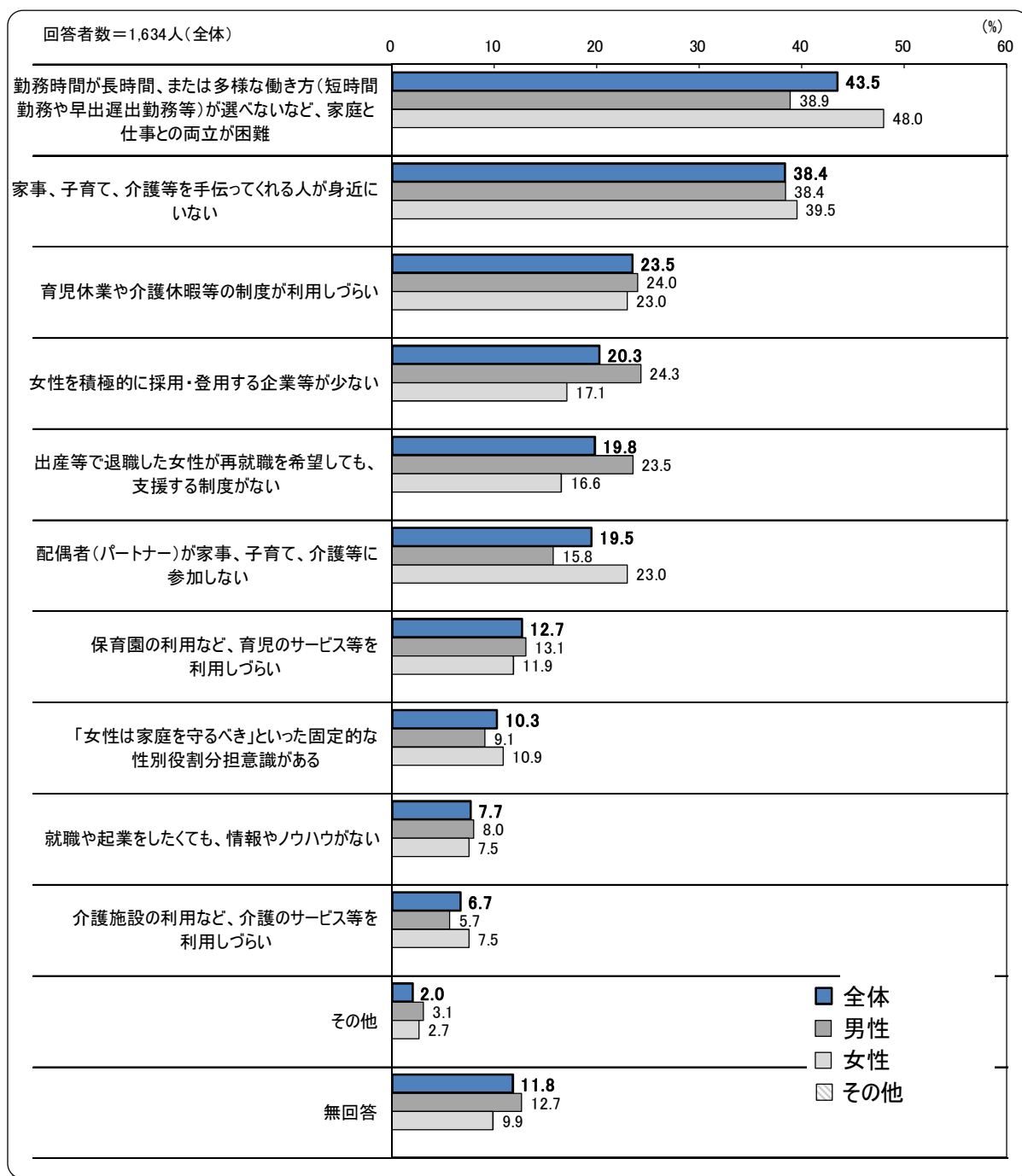
選択肢の一部が変更されたため単純な比較はできないが、今年度も、25年度と同じく「勤務時間が長時間、または多様な働き方(短時間勤務や早出遅出勤務等)が選べないなど、家庭と仕事との両立が困難」が1位になっている。



【性別】

男女とも「総合」と同じ傾向になっている。

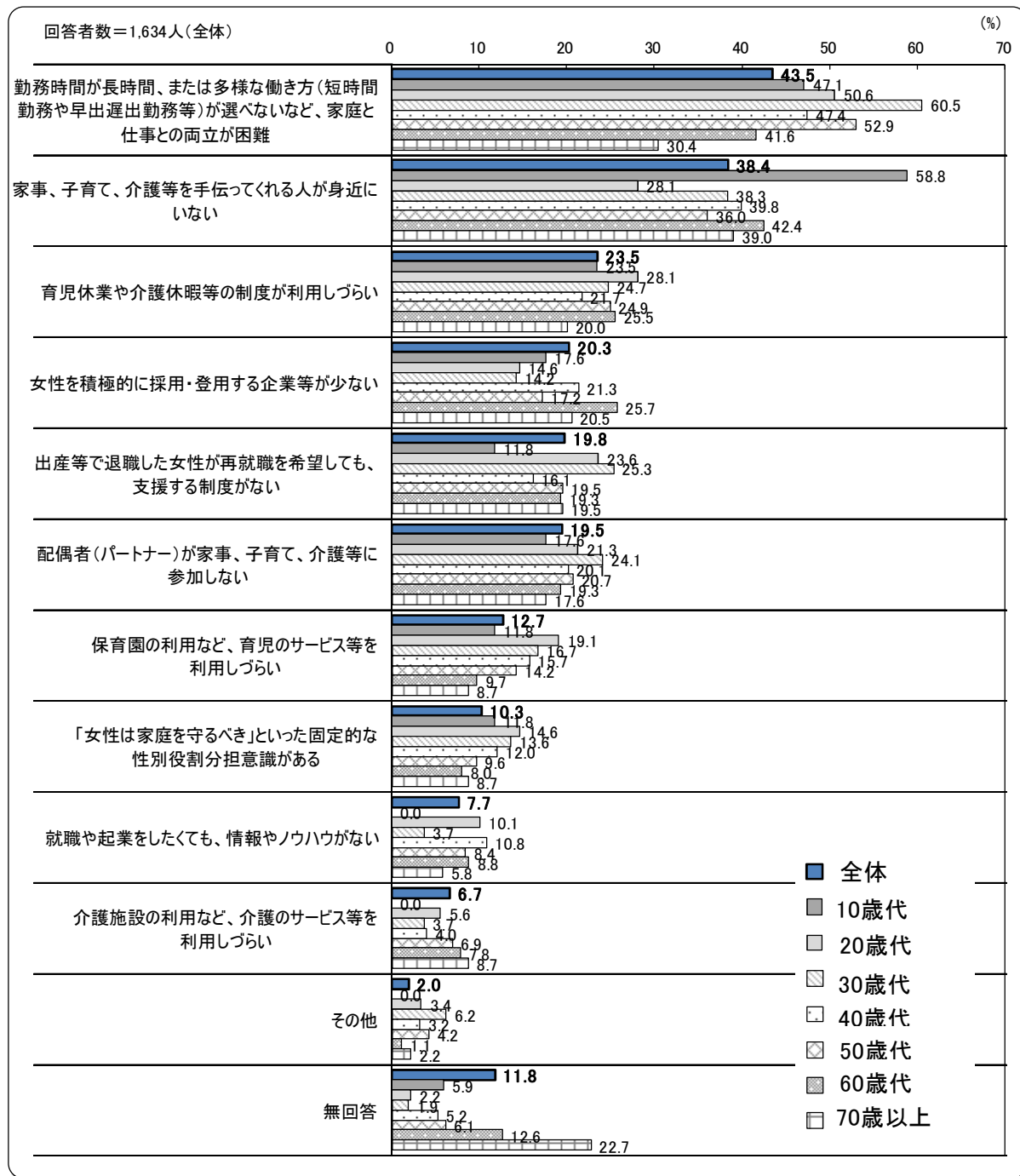
《性別》



【年代別】

いずれも「勤務時間が長時間、または多様な働き方（短時間勤務や早出遅出勤務等）が選べないなど、家庭と仕事との両立が困難」の割合が高くなっている。

《年代別》



【婚姻状況別】

未婚、既婚では「勤務時間が長時間、または多様な働き方（短時間勤務や早出遅出勤務等）が選べないなど、家庭と仕事との両立が困難」が、その他では「家事、子育て、介護を手伝ってくれる人が身近にいない」が1位になっている。

【子どもの状況別】

子どもは成人している又は独立しているを除くすべての子どもの状況で「勤務時間が長時間、または多様な働き方（短時間勤務や早出遅出勤務等）が選べないなど、家庭と仕事との両立が困難」が1位になっている。

【お住まいの場所別】

安芸広域圏を除くすべてのお住まいの場所で「勤務時間が長時間、または多様な働き方（短時間勤務や早出遅出勤務等）が選べないなど、家庭と仕事との両立が困難」が1位になっている。

《婚姻状況別・子どもの状況別・お住まいの場所別》

【表の見方】 上段=回答数(人) 下段=比率(%)		全体	配偶者（パートナー）が家事、子育て、介護等に参加しない	家事、子育て、介護を手伝ってくれる人が身近にいない	保育園の利用など、育児のサービス等を利用しづらい	介護施設の利用など、介護のサービス等を利用しづらい	女性を積極的に採用・登用する企業等が少ない	育児休業や介護休暇等の制度が利用しづらい	勤務時間が長時間、または多様な働き方（短時間勤務や早出遅出勤務等）が選べないなど、家庭と仕事との両立が困難	就職や起業をしたくても、情報やノウハウがない	「女性は家庭を守るべき」といった固定的な性別役割分担意識がある	出産等で退職した女性が再就職を希望しても、支援する制度がない	その他	無回答
全体	1,634 100.0	319 19.5	628 38.4	207 12.7	109 6.7	332 20.3	384 23.5	711 43.5	126 7.7	168 10.3	324 19.8	32 2.0	192 11.8	
婚姻状況	未婚	290 15.9	36.9	17.2	6.2	21.7	26.2	46.6	8.3	13.1	19.3	3.1	8.3	
	既婚	1,015 62.5	22.3	39.4	11.9	6.3	20.6	24.6	7.8	10.0	20.6	2.5	9.7	
	その他	249 15.3	40.6	9.2	8.0	18.1	16.1	37.3	6.4	7.2	16.9	4.0	18.9	
子どもの状況	就学前の子どもがいる	119 7.3	26.9	27.7	17.6	0.8	13.4	22.7	55.5	5.9	11.8	28.6	5.9	7.6
	小・中学生の子どもがいる	174 10.7	23.6	37.9	10.9	4.6	19.0	23.6	55.7	7.5	13.8	18.4	2.9	5.7
	高校生の子がいる	107 6.5	23.4	34.6	17.8	8.4	20.6	19.6	44.9	10.3	15.9	16.8	2.8	7.5
	大学生、専門学校生等の子どもがいる	103 6.3	26.2	36.9	16.5	1.9	18.4	19.4	42.7	8.7	13.6	16.5	5.8	8.7
	子どもは成人している又は独立している	842 51.5	19.2	41.8	10.0	7.8	21.1	23.9	39.9	7.6	9.0	20.3	2.1	13.5
お住まいの場所	子どもはいない	380 23.3	15.8	39.2	16.3	6.6	21.3	24.7	48.9	8.9	10.3	18.4	3.7	7.1
	高知市	714 43.7	21.4	41.2	13.9	5.6	19.0	23.7	43.7	6.9	10.1	19.2	3.2	9.8
	安芸広域圏	107 6.5	18.7	37.4	15.9	15.9	16.8	20.6	34.6	8.4	11.2	18.7	2.8	13.1
	南国・香美広域圏	237 14.5	17.7	38.8	13.5	6.8	21.9	23.6	48.1	8.0	9.7	22.4	2.1	9.3
	嶺北広域圏	28 1.7	32.1	28.6	14.3	3.6	14.3	28.6	39.3	7.1	3.6	21.4	-	17.9
	仁淀川広域圏	118 7.2	17.8	33.9	12.7	3.4	26.3	21.2	47.5	9.3	13.6	19.5	4.2	10.2
	高吾北広域圏	51 3.1	13.7	47.1	5.9	7.8	15.7	27.5	56.9	9.8	11.8	25.5	2.0	9.8
	高幡広域圏	125 7.6	20.8	36.0	8.8	4.8	21.6	23.2	40.8	7.2	12.0	16.8	1.6	14.4
幡多広域圏	181 11.1	17.1	36.5	7.2	8.8	21.5	24.3	42.0	8.3	7.2	19.3	3.3	15.5	

(4)選んだ理由について

副問1 (問33で「1」(配偶者(パートナー)が家事・子育て・介護等に参加しない)を選んだ方のみお答えください。)
 選んだ理由は何ですか。(2つまで○印)

【総合】 「男性は仕事」「女性は家事・育児」という固定的な性別役割分担意識がある」が 50.5%と1位になっている。

次いで「仕事が忙しい(時間外が多い)から家事、子育て、介護等をする時間がない」が 45.8%、「育児休業や介護休暇等の制度が利用しづらい(休みづらい)」が 27.0%と続いている。

《総合》

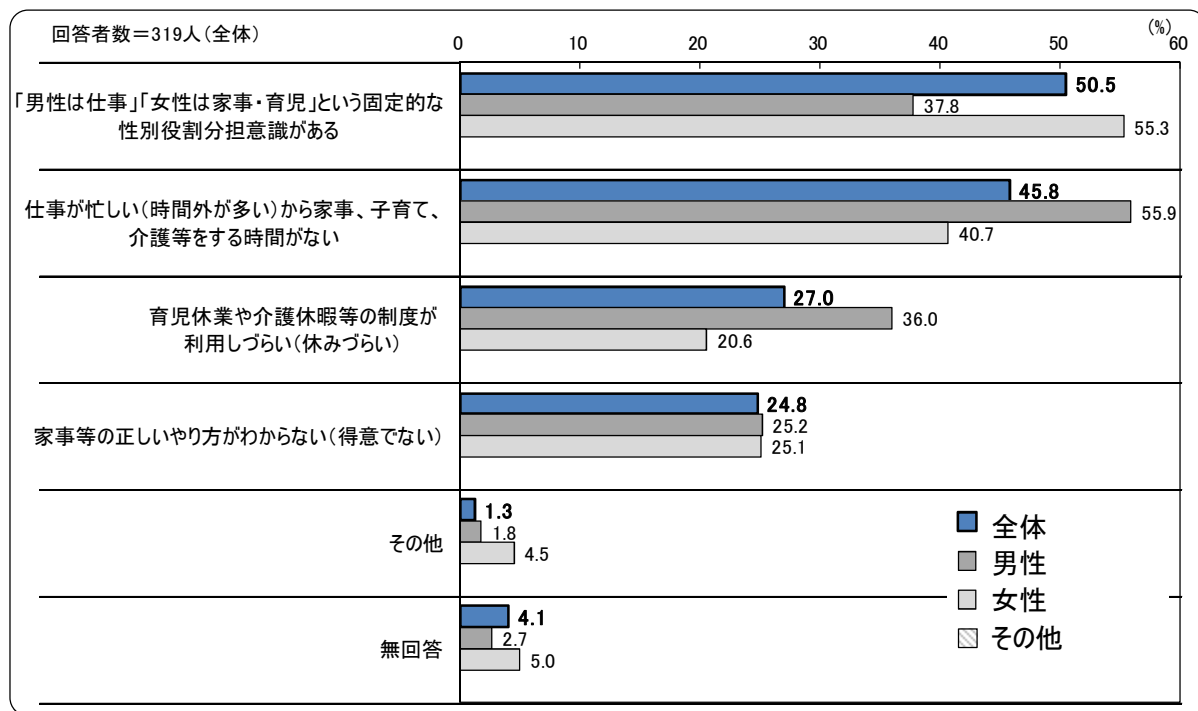
		回答数
全体	100.0	319 人
「男性は仕事」「女性は家事・育児」という固定的な性別役割分担意識がある	50.5	161 人
仕事が忙しい(時間外が多い)から家事、子育て、介護等をする時間がない	45.8	146 人
育児休業や介護休暇等の制度が利用しづらい(休みづらい)	27.0	86 人
家事等の正しいやり方がわからない(得意でない)	24.8	79 人
その他	1.3	4 人
無回答	4.1	13 人

グラフ単位: (%)

【性別】

男性では「仕事が忙しい（時間外が多い）から家事、子育て、介護等をする時間がない」が、女性では「男性は仕事」「女性は家事・育児」という固定的な性別役割分担意識がある」が1位になっている。

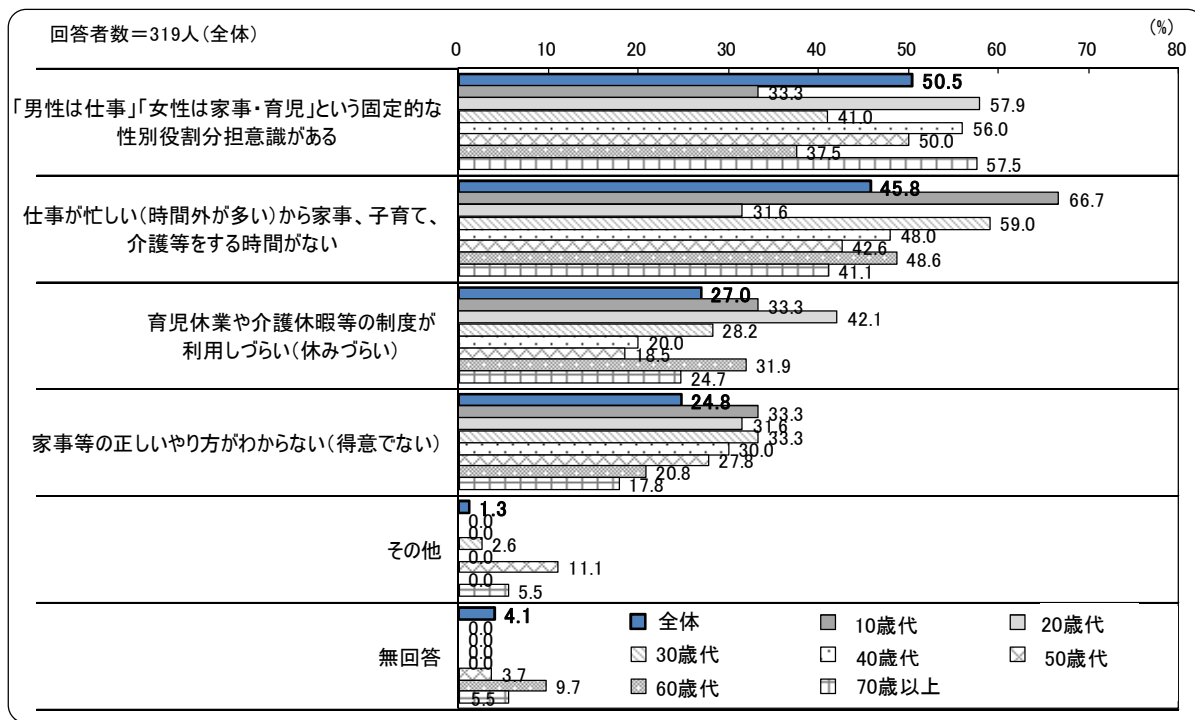
《性別》



【年代別】

いずれも「男性は仕事」「女性は家事・育児」という固定的な性別役割分担意識がある、「仕事が忙しい（時間外が多い）から家事、子育て、介護等をする時間がない」の割合が高くなっている。

《年代別》



【婚姻状況別】

未婚、既婚では「仕事が忙しい（時間外が多い）から家事、子育て、介護等をする時間がない」が、その他では「男性は仕事」「女性は家事・育児」という固定的な性別役割分担意識がある」が1位になっている。

【子どもの状況別】

小・中学生の子どもがいる、子どもはいないを除くすべての子どもの状況で「男性は仕事」「女性は家事・育児」という固定的な性別役割分担意識がある」が1位になっている。

【お住まいの場所別】

いずれも「男性は仕事」「女性は家事・育児」という固定的な性別役割分担意識がある」の割合が高い傾向になっている。

《婚姻状況・子どもの状況別・お住まいの場所別》

		全体	仕事、子育て、介護等をする時間外が多いから	育児休業や介護休業等の制度が利用しづらい	「男性は仕事」「女性は家事・育児」という固定的な性別役割分担意識がある	家事等の正しいやり方がわからない（得意でない）	その他	無回答
【表の見方】 上段＝回答数(人) 下段＝比率(%)								
全体		319 100.0	146 45.8	86 27.0	161 50.5	79 24.8	4 1.3	13 4.1
婚姻状況	未婚	46	56.5	30.4	52.2	32.6	-	-
	既婚	226	48.2	24.8	45.6	25.2	2.7	4.9
	その他	38	21.1	28.9	65.8	15.8	13.2	5.3
子どもの状況	就学前の子どもがいる	32	50.0	28.1	53.1	28.1	3.1	-
	小・中学生の子どもがいる	41	58.5	26.8	43.9	29.3	2.4	2.4
	高校生の子どもがいる	25	24.0	20.0	60.0	24.0	4.0	4.0
	大学生、専門学校生等の子どもがいる	27	44.4	29.6	59.3	29.6	-	-
	子どもは成人している又は独立している	162	44.4	27.2	46.9	19.8	4.9	5.6
	子どもはいない	60	51.7	20.0	50.0	33.3	1.7	3.3
お住まいの場所	高知市	153	45.1	28.8	43.1	28.1	3.9	3.9
	安芸広域圏	20	45.0	20.0	60.0	25.0	-	10.0
	南国・香美広域圏	42	54.8	19.0	50.0	26.2	7.1	2.4
	嶺北広域圏	9	33.3	55.6	55.6	11.1	11.1	-
	仁淀川広域圏	21	57.1	28.6	61.9	23.8	-	-
	高吾北広域圏	7	42.9	42.9	42.9	28.6	-	-
	高幡広域圏	26	38.5	19.2	53.8	19.2	3.8	3.8
	幡多広域圏	31	45.2	16.1	54.8	19.4	-	9.7

(5) 女性が地域で生き生きと働くために行政が取り組むべき施策について

問34 女性が地域で生き生きと働くため、行政が取り組んだら良いと思うものはどれですか。

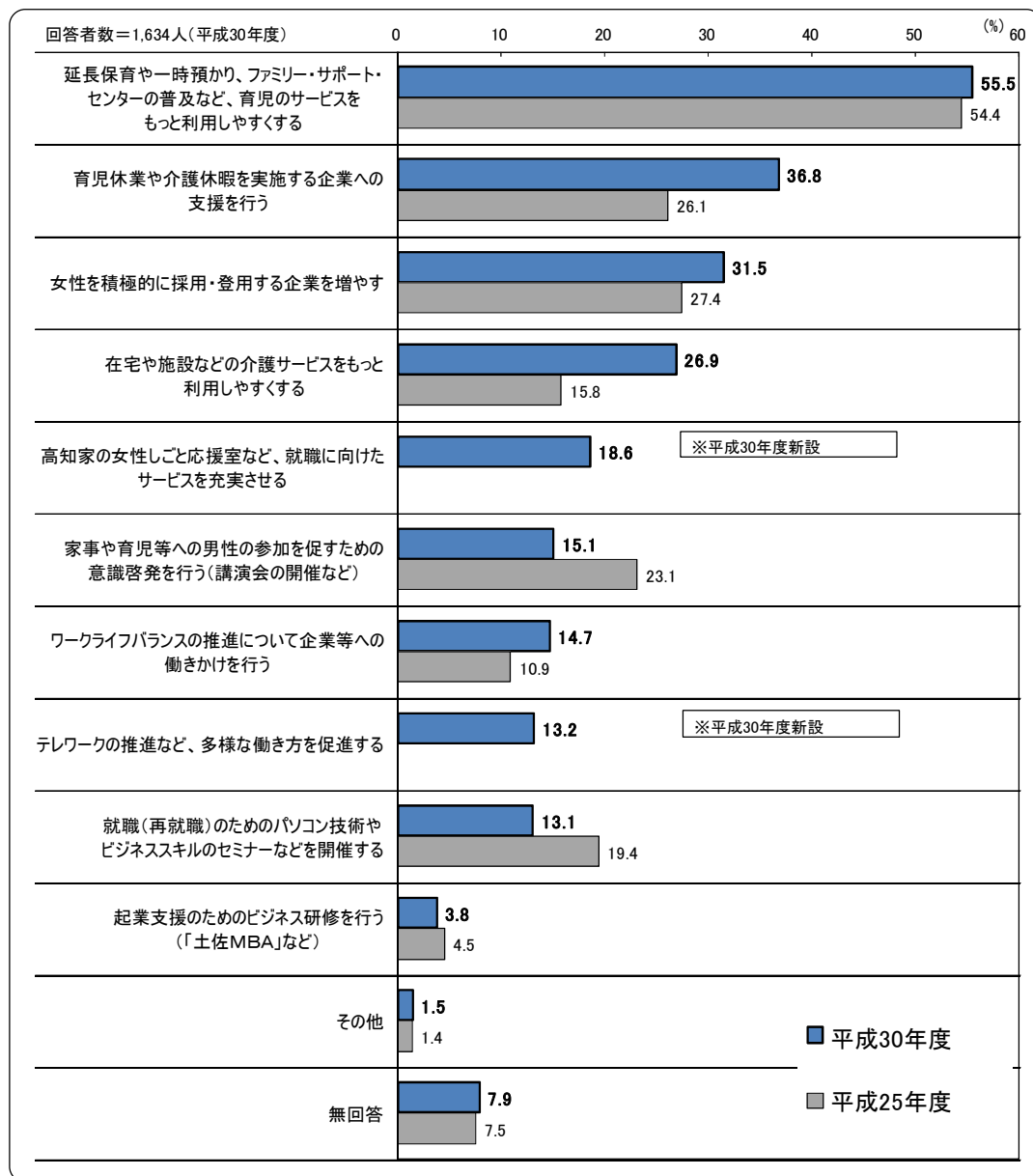
(3つまで○印)

【総合】 「延長保育や一時預かり、ファミリー・サポート・センターの普及など、育児のサービスをもっと利用しやすくする」が55.5%と1位になっている。

次いで「育児休業や介護休暇を実施する企業への支援を行う」が36.8%、「女性を積極的に採用・登用する企業を増やす」が31.5%と続いている。

【過去の調査との比較】

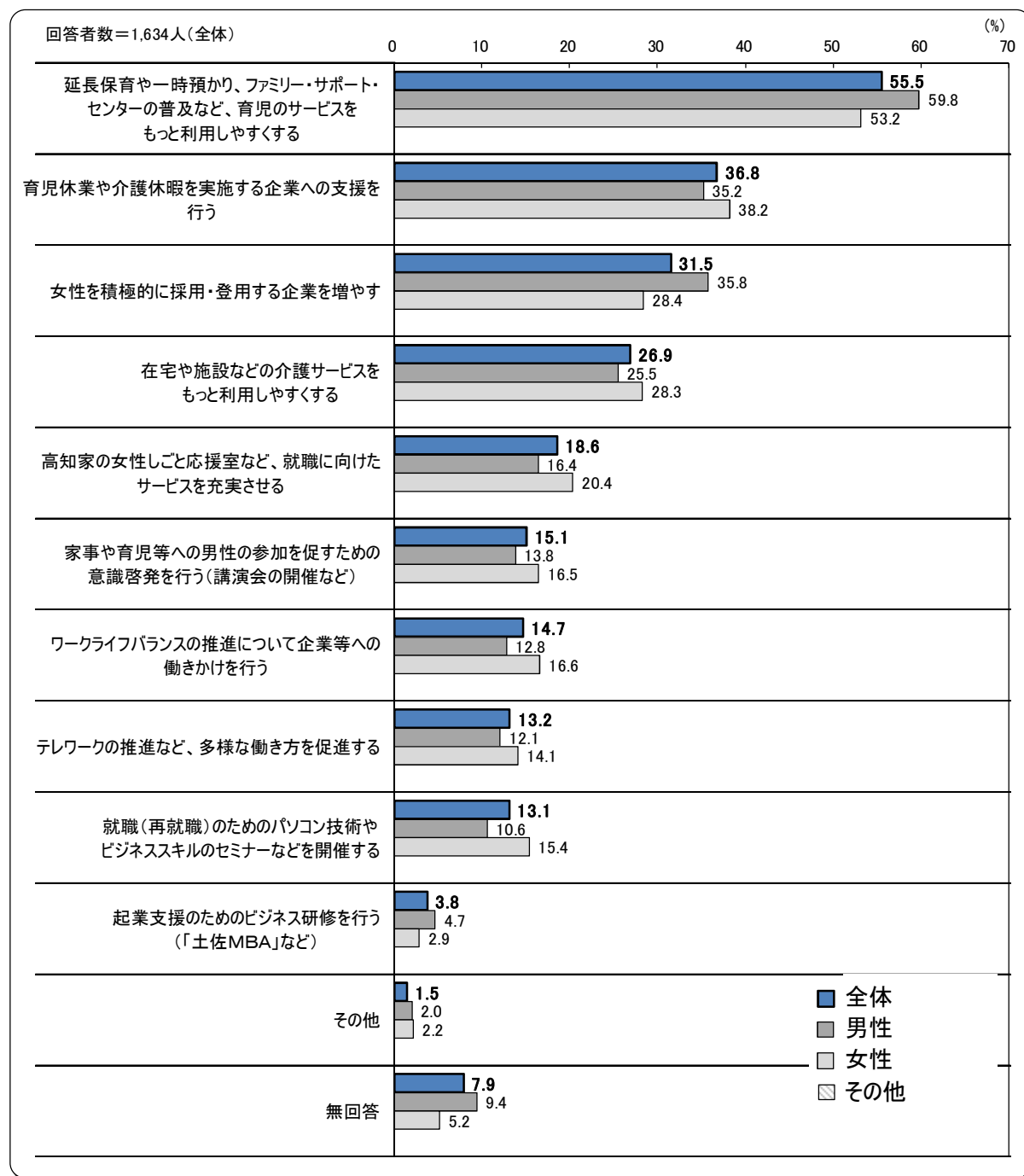
選択肢の一部が変更されたため単純な比較はできないが、今年度も、25年度と同じく「延長保育や一時預かり、ファミリー・サポート・センターの普及など、育児のサービスをもっと利用しやすくする」が1位になっている。



【性別】

男女とも「総合」と同じ傾向になっている。

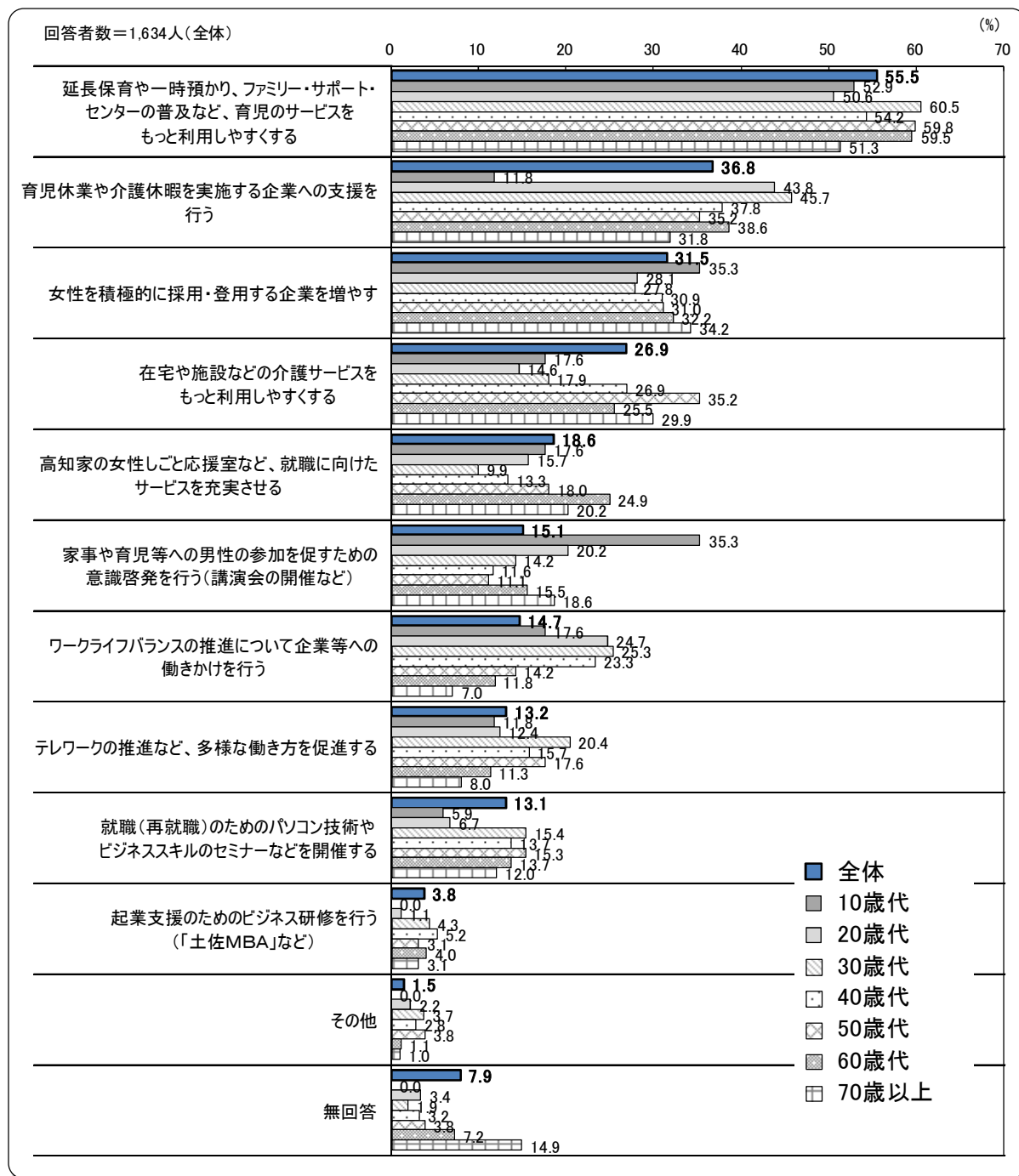
《性別》



【年代別】

いずれも「延長保育や一時預かり、ファミリー・サポート・センターの普及など、育児のサービスをもっと利用しやすくする」が半数を超えて1位になっている。

《年代別》



【お住まいの場所別】

嶺北広域圏を除くすべてのお住まいの場所で「延長保育や一時預かり、ファミリー・サポート・センターの普及など、育児のサービスをもっと利用しやすくする」が半数を超えて1位になっている。

《お住まいの場所別》

【表の見方】 上段=回答数(人) 下段=比率(%)	全体	家事や育児等への男性の参加を促すための意識啓発を行う(講演会の開催など)	延長保育や一時預かり、ファミリー・サポート・センターの普及など、育児のサービスをもっと利用しやすくする	在宅や施設などの介護サービスをもっと利用しやすくする	女性を積極的に採用・登用する企業を増やす	育児休業や介護休暇を実施する企業への支援を行う	ワークライフバランスの推進について企業等への働きかけを行う	テレワークの推進など、多様な働き方を促進する	高知家の女性しごと応援室など、就職に向けたサービスを充実させる	起業支援のためのビジネス研修を行う(「土佐MBA」など)	就職(再就職)のためのパソコン技術やビジネススキルのセミナーなどを開催する	その他	無回答	
														907
	1,634	247	55.5	26.9	31.5	36.8	14.7	13.2	18.6	3.8	13.1	1.5	7.9	
全体	100.0	15.1												
お住まいの場所	高知市	714	57.3	25.4	30.3	38.5	16.2	14.3	20.7	3.4	13.6	1.8	6.9	
	安芸広域圏	107	56.1	33.6	30.8	33.6	12.1	7.5	19.6	1.9	12.1	2.8	6.5	
	南国・香美広域圏	237	61.6	27.0	31.6	35.4	16.0	13.5	12.7	4.2	12.2	2.5	4.6	
	嶺北広域圏	28	32.1	39.3	28.6	17.9	42.9	3.6	7.1	14.3	7.1	21.4	3.6	10.7
	仁淀川広域圏	118	55.9	24.6	32.2	39.8	20.3	16.1	20.3	3.4	11.0	1.7	8.5	
	高吾北広域圏	51	58.8	25.5	31.4	41.2	13.7	19.6	11.8	7.8	13.7	2.0	3.9	
	高幡広域圏	125	51.2	27.2	39.2	34.4	9.6	13.6	18.4	2.4	8.8	2.4	8.8	
	幡多広域圏	181	50.8	30.9	34.3	33.1	12.2	8.3	18.8	3.9	16.6	1.7	9.9	